

事業実施の目的	本市が推進する幼小中一貫教育の中で、一人一人の多様性を配慮しながら、すべての子どもたちの学びや生活の基盤を育む幼保小の円滑な接続のあり方、その具体的なカリキュラム開発と実施、検証・定着
---------	--

事業内容・成果 (R4年度)	<p><b>1. 主な取組内容について</b></p> <p><b>【架け橋期のカリキュラム開発会議】</b>                  大学教授、幼小中一貫教育の学園代表（公立園・私立園・小学校の保育者・教員）、保護者代表、地域の有識者からなる開発会議を4回開催し、カリキュラムの作成方法や幼小の連携・交流の状況、架け橋事業の理解・周知等について検討した。</p> <p><b>【架け橋期のカリキュラム】</b>                  カリキュラム開発会議及びワーキンググループにおいて、本市が目指す架け橋期の重点と育てたい子どもの姿を記したプランと私立園を含めた4つの学園ごとの接続カリキュラム（幼児期の終わりまでに育てたい姿を手掛かりにしたもの）を検討し、作成した。</p> <p><b>【園・小学校における体制】</b>                  各小学校では、私立園を含めた多くの園から入学してくる子の情報共有や交流内容の充実に向けた連絡会（合同会議）を年2～3回実施した。公立・私立を問わず、幼小の交流や体験・参観活動はほとんどの小学校区で年複数回行った。</p> <p><b>【自治体における体制】</b>                  調査研究にあたっては、幼小中一貫教育のしゅきを生かして、架け橋コーディネーターと幼児教育アドバイザー、未来の教育推進室や学校教育課との連携を含め、市全体でより組織的、効果的、継続的に調査研究を進めた。コーディネーターは園・校を訪問し、接続や交流状況を把握して助言を行ったり、研究協力園・校の研修に参加して、理解の促進を行ったりした。また、就学前教育推進会議を年4回開催し、公立園・私立園・小学校の担当者が参加して、滑らかな接続に向けての資質向上やカリキュラムについての情報共有を行った。</p> <p><b>2. 主な成果について</b></p> <p>スタートカリキュラムの実施により、ほとんどの小学校で、例年に比べて登校渋りや落ち着かない子が少なかった。また、架け橋期の取組の重要性を、全教員・保育者で共有することや交流や連携活動の拡充を望むなど、教員・保育者の連携に向けての意識の高まりが公立園・小学校だけでなく私立園でも見られた。</p>
-------------------	---

事業実施地域・協力園校 (R4年度)	<p><b>【実施地域】</b>○袋井市</p> <p><b>【協力園校】</b></p> <p>幼：公立幼稚園3園、私立幼稚園1園                  私立こども園2園、私立保育園2園</p> <p>小：公立小学校4校</p>
-----------------------	---

今後の目標 (R5年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学園カリキュラムに基づく教育・保育の実施と、検証</li> <li>○交流・体験活動の充実・拡大</li> <li>○教職員の連携の推進(異校種体験や合同会議の充実)</li> <li>○架け橋事業の理解促進（全園・校での研修、架け橋通信の発行）</li> </ul>
-----------------	--

南の丘学園 架け橋カリキュラム		学園教育目標:「夢に向かい 自分らしさを生かして ともに精進する」				
アプローチカリキュラム (幼児)						
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
ステージ	I			II		
幼児の発達	新しい環境の中で自分たちなりに遊びや生活を進めていこうとする時期		友達とのつながりを深め思いを伝えながら遊びを進める時期		共通の目的に向かって	
育ってほしい幼児の姿 (ねらい)	生活する力	年長になった自覚をもって生活を楽しむ		気持ちよく生活するために必要な生活習慣を考		
	思考表現の基礎となる力	考えたり試したりして遊ぶことを楽しむ		好奇心や探求心をもって身近な事象に自分から関わる		
	学びに向かう力	物事にじっくり取り組みやり遂げる楽しさを感じる				

市の全体計画に基づき、ステージごとに育ってほしい姿を、3つの力に沿って明記

子どもに経験させた	①健康な心と体	<p>進級・新しい生活の始まり</p> <p>スタートカリキュラム</p> <p>泥・水遊び・プール遊び</p> <p>運動あそびを通して</p>	スタートカリキュラム (1年生)						
	②道徳性・規範意識の芽生え		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
	③社会生活との関わり		新しい環境に慣れ、生活のルールや学習の仕方を理解する		ルールや、マナーを身につけて生活する		様々な活動や人		
	④自立心		活動に意欲をもって取り組み、気付いたことを発表する		自分の思いを話したり書いたりして表現する		友達と考えや気持		
	⑤自然との関わり・生命尊重		自分でできることや新しいことに取り組む		できたことを実感し、自信をもって学習に取り組む		友達と互いに励		
	⑥言葉による伝え合い		入学式・1年生を迎える会・縦割り出会の会		リレー大会		運動会練習・運		
		<p>進級した喜びを感じ、新しい生活に意欲的に取り組む ①②③④</p> <p>身の回りを整える必要性がわかり進んで行おうとする ①②③④</p> <p>周囲の自然に触れ、不思議に感じたことを図鑑で調べたり試したりする</p>	4つの承認・あいさ						
		<p>かこうどういすき(生)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>文豪をしよう(歌)</li> <li>楽しい輪舞(学)</li> <li>遊戯の仕方を知ろう(学)</li> <li>学校大好き(道)</li> <li>気持ちのよい生活(道)</li> <li>教室やトイレの使い方を覚えよう(歌)</li> <li>校歌(音)</li> </ul>	<p>学校のまわりを知ろう(学)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>そうじのしかた(学)</li> <li>係をきめよう(学)</li> <li>よいことわるいこと(道)</li> <li>あかるといあいさつ(道)</li> <li>なかよくね(道)</li> </ul>		<p>学校山であそぼう(生)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>雨の日のすごしかた(学)</li> <li>よいことわるいこと(道)</li> <li>どうしてこうなるのかな(道)</li> </ul>		<p>関係をきめよう</p> <p>もっと友達となかよくなろう</p> <p>きんのおの</p> <p>かぞくとおほなし</p> <p>いきていって</p> <p>やめなさい</p> <p>ともだちとなかよくなろう</p> <p>とりかえっこ</p>		
		<p>たのしくぞう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>みんなで遊ぼう(歌・体)</li> <li>鬼遊び(体)</li> <li>リズム遊びをしよう(音)</li> <li>歌っておどろう(音)</li> <li>かきたいものなかに(図)</li> <li>いちねんせいになって(学)</li> </ul>	<p>きれいにさいてね</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>たねをまこう</li> <li>せわをしよう</li> <li>たねをとろう</li> <li>朝顔プレゼント作り</li> </ul>		<p>虫歯のよぼう</p> <p>交通事故に気をつけよう</p> <p>1学期の反省</p> <p>楽しい夏休み</p> <p>ありがとう</p>		<p>たのしい</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学校山</li> <li>公園で</li> <li>まっぱ</li> <li>秋のこ</li> </ul>		
		<p>ともだちをふやそう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自己紹介をしよう(学)</li> <li>みんなとなかよくなりたいな(生)</li> <li>なんていおうかな(国)</li> </ul>	<p>いきものなかよし</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>虫をさがそう</li> <li>虫となかよくなろう</li> </ul>		<p>なつがやってきた</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>校庭で草花や虫をさがそう</li> <li>水で遊ぼう</li> <li>なつのことを伝えよう</li> </ul>		<p>運動会を楽しもう(行)</p> <p>かぞくとおほなし</p> <p>思いや考えたことを2・3文で伝え合う</p>		
			<p>言葉劇「おおきなかぶ」</p>		<p>言葉劇「</p>				

幼児期は、10の姿を手掛かりに、経験させたい内容を明記

小学校は、幼児期の体験との関わりが深い活動の単元名を明記